

医療従事者向け防護服の備蓄状況について

1 備蓄の考え方

- 平成21年度、新型インフルエンザ対策として備蓄を開始。
使用実績等を踏まえ、目標備蓄数を110万着と設定。
- 令和元年12月現在、強毒用・弱毒用としてそれぞれ110万着、合計220万着を備蓄

2 新型コロナウイルス感染症発生後の使用状況

- 1月28日 2万着を中国への支援用として提供
- 2月7日 10万着を中国への支援用として提供（搬出完了）
- 2月7日～12日 2万着を都内医療機関及び保健所に供給（本日完了）
- 2月12日 中国支援用の2万着及び中国・清華大学への1万着提供
に向け調整中

⇒ 来年度廃棄計画数の範囲で対応、約200万着の備蓄あり

（注）令和元年9月20日に埼玉県への豚熱対策支援用として5千着提供

3 今後の見通し

- 引き続き都内の医療機関及び保健所に対して随時供給
- 今般の新型コロナウイルス感染症の発生以降の状況等を踏まえ、令和2年度の目標備蓄数については、改めて検討